

令和4年度第1回成田市地域包括支援センター等運営協議会
会議録概要

1 開催日時

令和4年8月8日（月）（書面開催）

2 開催場所

資料郵送による書面開催

3 出席者

（委員）

篠田委員、長島委員、吉田委員、宮下委員、塚田委員、岩松委員、
石井委員、山下委員、北村委員、宮崎委員

（事務局）

米本福祉部長

平岡介護保険課長、青野係長、築比地副主幹、加瀬副主査

窺高齢者福祉課長、佐藤係長、窪木係長

西部北地域包括支援センター（北村管理者）

南部地域包括支援センター（井上管理者）

西部南地域包括支援センター（林管理者）

東部地域包括支援センター（岩澤管理者）

西部西地域包括支援センター（木下管理者）

生活支援コーディネーター（松田、土屋、坂本、山崎、細田、茂野）

4 会議次第

（1）地域包括支援センターの運営等に関する事

①地域包括支援センターの運営等に関する事

②令和3年度地域包括支援センター事業計画の達成状況について

③介護予防支援業務等の一部委託について

（2）地域密着型サービスの運営等に関する事

（3）介護予防・日常生活支援総合事業に関する事

※詳細は別添の資料を参照。

5 委員からの意見等

別添の「書面開催による成田市地域包括支援センター等運営協議会における意見と市の考え方について」を参照

書面開催による成田市地域包括支援センター等運営協議会における
意見と市の考え方について

・会議の名称

令和4年度第1回成田市地域包括支援センター等運営協議会

・担当課

介護保険課

書面開催による成田市地域包括支援センター等運営協議会における意見と市の考え方について

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
1	<p>民児協や地区社協などは、具体的にどのような活動をしているのか、どのようなケースに関わってもらえるのかなどを、ケアマネジャーが知る機会があると良いと思った。</p>	<p>民児協は、市内を10の区域に分け、民生委員同士や行政機関等との連絡調整、また月1回開催される定例会で個別ケースの情報・意見交換などを行う組織です。この定例会では、個別の課題を持ち寄って、地域での解決策を検討する機会ともなりますので、民児協へのご相談は、事務局である市社会福祉協議会にご連絡ください。</p> <p>地区社協は、市内で16の区域、主に小中学校区に設置された住民組織で、ふれあいいきいきサロンをはじめ、児童生徒を対象とした福祉体験学習、成田市から委託されている独居高齢者ふれあい訪問等サービス事業や地区敬老会など、高齢者の社会参加から児童生徒との世代間交流まで幅広い地域福祉活動を実施しています。このように、地区社協は地域を対象とした組織的活動が主になるため、地区社協として個別のケー</p>	<p>社会福祉課 (社会福祉協議会)</p>	<p>—</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
		<p>スに積極的にかかわることはしませんが、地区社協の活動は民生委員が中心となって実施しているため、各種行事に参加する高齢者の把握や様子の変化への気づきなど、個別の支援へつなぐきっかけ作りに貢献しています。地区社協ごとには事務局は置かれていないため、地区社協に相談等がある場合は市社会福祉協議会にお問合わせください。</p>		
2	<p>一般介護予防事業について、運動系が多くあるが、それぞれどのように使い分けがされているのか。</p>	<p>市で行っている運動系の介護予防教室等について、「シニア健康カレッジ」は、健康寿命の延伸や介護・寝たきりの予防を目的とする足腰を中心とした比較的強度が高い筋力トレーニングを行うものであり、「公園健康遊具によるうんどう教室」は、“簡単・優しい・続けられる”をテーマに、日常生活の中で運動を習慣化できるよう取り組む運動になります。また、令和2年度から実施している新たな介護予防教室「人生カッコよく</p>	介護保険課	P 4 9 ~ P 5 1

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
		<p>プロジェクト」は、認知症予防のほか、フレイル（虚弱）やロコモティブシンドローム（運動器症候群）を予防する総合的な介護予防プログラムにより実施しています。その他、「なりたいきいき百歳体操」は、高齢者の居場所づくりや健康の維持向上などを目的とし、地域において自主的活動として推奨しています。</p> <p>このように各種教室等を開催しており、目的や身体に合う運動や教室を選んで参加していただけるものと考えています。</p>		
3	<p>一般介護予防事業について、運動やボランティア活動など、通う事が前提となっている活動が多いが、訪問型の活動があっても良いと思う。きめ細やかな支援という点で、電球の交換やゴミ出し等（介護保険ではなかなか時間や曜日指定が困難であるため）、ちょっとした事をお願いできる訪問系のボランティアもあると助かるのではないかと。</p>	<p>介護支援ボランティア制度の対象となるボランティア活動については、介護施設等への通いによる活動としています。訪問型の活動、支援という視点においては、介護予防・日常生活支援総合事業において実施する、訪問型サービス B が住民主体の自主活動として行う生活援助となっておりますので、本市での実施について、地域の状況やニ</p>	介護保険課	P 5 0

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
		ーズも勘案しながら、今後検討してまいります。		
4	高齢者人口（高齢化率）は、後期高齢者のみのデータも見たい。	令和4年3月31日現在、市内の後期高齢者数は14,941人です。今後、後期高齢者のみのデータについては、資料全体の情報量や見やすさ等も考慮しながら、検討してまいります。	介護保険課	P. 1
5	地域の助け合いの必要性について、住民への具体的な説明が必要であり、できれば市の組織横断的な検討会・市民の意見の収集や知見を持った専門職や市民の協力者の育成と配置を検討してほしい。	地域の助け合い（共助）については、各圏域に設置されている地域包括支援センターや生活支援コーディネーターを通じて、地域の生活課題の解決に向けて住民と共に取り組んでいるところでございます。今後も、成田市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体等を通じて、多様な主体間の情報収集や市民、識見者等から意見を伺いながら、地域における連携、協働による取り組みを推進してまいります。	介護保険課	P. 3
6	成田市認定ヘルパーの養成促進と活躍の場の提供を工夫してほしい。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、令和元年度より認定ヘルパー	介護保険課	P. 4 8

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
		養成講座を中止しています。今後、感染状況を注視し、養成講座の再開に向けて検討してまいります。また、活躍の場の提供につきましては、養成後の就労につながる支援として、受入れ事業所とのマッチングや認定ヘルパーのフォローアップなどを検討してまいります。		
7	介護予防は個人の認識向上と日々の努力によるものとし、行政は推進と援助を行う、抜本的な見直しが必要ではないか。	市では、各種介護予防教室の開催や、なりたいきいき百歳体操などの住民主体の活動においては、補助金を交付するなど団体立上げを推進し、介護支援ボランティア制度による主体的な活動支援など、介護予防の取り組みを推進しています。今後も、介護予防に対する普及啓発や各種教室を開催するとともに、地域での主体的な活動においては、人的な支援等を行いながら、市民が継続した介護予防活動に取り組んでいけるよう努めてまいります。	介護保険課	P. 49
8	コロナ禍の活動について、コロナ収束の見通し、予防注射とコロナの関係について、	現在もコロナ収束の見通しは立っておらず、コロナウイルスワクチンを接種するこ	健康増進課 介護保険課	—

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
	<p>また、事業開催について主催者側の注意、集客者に対する注意等、どのような注意と判断のもとで開催されているのか教えてほしい。</p>	<p>とによって重症化予防効果等があるとされております。【健康増進課】</p> <p>事業開催についての注意や判断については、緊急事態宣言などの発令中や感染が急拡大している状況等においては、開催を見合わせています。また、開催する際は、感染リスクを下げるため、1会場当たりの参加人数を抑えるとともに、集合形式以外にもインターネットを用いたプログラムのリモート配信を行うなど工夫しています。対面で実施する場合には、会場の換気や入室前の手指消毒と検温、マスク着用や書面による健康チェックなど感染対策を徹底しております。【介護保険課】</p>		
9	<p>大栄地区（横山）は非常に交通の便が悪い地域であり、オンデマンド交通の改善や移動販売の実施などは可能か。</p>	<p>高齢者の方が、日常生活の中で、通院や買い物などで安心して移動・外出するためには、利用しやすく安全な移動手段を確保することが重要と考えておりますことから、引き続き、オンデマンド交通の利便性向上に向</p>	<p>高齢者福祉課 介護保険課</p>	<p>P. 24</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
		<p>けて、交通事業者などの関係者と協議してまいります。【高齢者福祉課】</p> <p>市では「買い物支援と地域の見守り活動推進に関する協定」を株式会社カスミ及び株式会社ナリタヤとそれぞれ締結し、移動スーパーの運行をしております。現在、大栄地区の横山につきましては、運行していませんが、今後運行ルートの見直し等も適宜行ってまいりますので、移動スーパーをご希望の際は、お住まいの地区の地域包括支援センターに配置している生活支援コーディネーターまでご相談ください。【介護保険課】</p>		
10	大栄地区（横山）で、百歳体操グループに参加している高齢者はいるか。	現在、横山で実施しているグループはありませんが、大栄地区では、久井崎・稲荷山で実施しております。	介護保険課	P. 30
11	今後、リモート化が進んでいくと考えられるが、高齢者がどう活用していくか、また、	コロナ禍においては今後リモート化が進むことが考えられ、これまでも市民向け講演会のオンライン開催や、令和4年度新介護	介護保険課	—

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
	<p>困難な場合のリソースについて少しずつ検討してほしい。</p>	<p>予防教室「人生カッコよくプロジェクト」においては、会場での対面開催のほか、自宅などで介護予防に取り組めるようオンラインコースを実施します。オンラインコースの参加者には、希望者にスマートフォンなどの操作方法を説明する機会を設けています。また、地域包括支援センターでは、社会福祉協議会のスマホボランティア講座に参加されたボランティアの方々と協力して、高齢者を対象に「スマホ講座」を開催しています。今後も市としてDXを推進するとともに、高齢者のリモートの活用に取り組んでまいります。</p>		
12	<p>会議等もリモートになるなど、対面での話し合いが困難であるが、センター毎にまとめられた資料を共有できればいいのではないか。また、「シトラスリボンプロジェクト」の取り組みは、連携体制の強化やSOSネットワークの強化を図るよい機会だと思う。</p>	<p>月1回開催している各地域包括支援センター職員と市担当者による「地域包括支援センター連絡会」については、対面のほかオンラインでも開催しており、連絡・相談事項や資料などを全体で共有しております。地域包括支援センター等運営協議会についても、</p>	介護保険課	P. 12

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
		<p>今後はオンラインでの開催も視野に入れながら、開催方法を検討してまいります。</p> <p>また、「シトラスリボンプロジェクト」の取り組み等を通じて、今後も地域包括支援センターや多職種との連携体制の強化に努めてまいります。</p>		
13	<p>なりたいきいき百歳体操の新たなグループ立ち上げについて、具体的な取り組みができなかった要因を掘り下げてほしい。</p>	<p>令和3年度は、市内において12団体を新規立ち上げ数として目標としていましたが、7団体の立ち上げとなりました。要因としては、コロナ禍による感染拡大や緊急事態宣言などの発令等により、高齢者等が外出を極力控えていることや、市や地域包括支援センターとして、積極的な呼びかけや情報提供などが困難であったことが挙げられます。今後も、感染状況を注視し、地域包括支援センターや生活支援コーディネーターと連携を図りながら、なりたいきいき百歳体操を推進し、新たな団体の立上げに努めてまいります。</p>	介護保険課	P. 39

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方	回答者	該当ページ
1 4	災害時の医療的ケアの継続について、停電時に吸引機や人工呼吸器を自宅で扱っているケースを地域ごとに把握しているか。また、コロナ禍で入院対応が難しいケースがあるが、電源確保を各事業所の自己責任で行うのかなど、災害時の医療及び介護対策が行われているのか確認したい。	<p>「医療的ケア」の範囲については、現時点で明確な定義があるわけではありませんが、障がい者福祉課では、障害者手帳所持者や難病患者のうち、日常生活用具（吸引器等）の給付・貸与を受けている方で、人工呼吸器や吸引器を使用している方について把握をしております。加えて、障害福祉サービスの利用時の調査やケースワーク等で確認できた方についても把握をしております。【障がい者福祉課】</p> <p>災害時の電源確保については、非常用の電気設備等を市で調達することは困難であるため、各医療機関における対応をお願いいたします。【健康増進課】</p>	障がい者福祉課 健康増進課	—

※回答を要しない内容につきましても、貴重なご意見として関係各所に周知いたします。